

令和元年 8 月 20 日

九州医学技術専門学校  
校長 今村 文章 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 管原 正志

### 学校関係者評価委員会報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1. 学校関係者評価委員

委員名	所属先	役職名	備考
管原 正志	西九州大学 健康福祉学部	教授	
南 惣一郎	長崎大学病院 検査部	元技師長	
小丸 検造	長崎原爆病院 医療技術部検査課	技師長	同窓会会長
今里 和義	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 検査部	元技師長	
金原 俊輔	長崎ウエスレヤン大学	名誉教授	
松田 一之	長崎みなとメディカルセンター	事務部長	

#### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 平成31年3月8日(金) 18:00～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

第2回委員会 令和元年 8月8日(木) 18:30～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

#### 3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

## 平成30年度九州医学技術専門学校自己評価をもとに評価

今年度に関しては、第1回委員会にて、平成30年度前期評価について、第2回委員会にて、平成30年度全期評価について、坂口教務部長より、学校自己評価の説明が行われたのち、学校自己評価をもとに、項目別でなく、全体的な学生像についての意見が活発に出された。

### 《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

坂口部長より

前回同様4段階評価をA～Dで標記。(4段階評価の評価をわかりやすくするため)  
臨床検査科の、学校教育方針他3項目の年度末評価が、一昨年(H29年度)のB評価同様、H30年度もB評価とした。理由は、重点努力目標の③の臨床検査技師国家試験合格率が90%以上を達成できなかったため。国家試験合格者は全員就職できた。

臨床検査科においては、意識向上のために病院見学を1年次に行うとの目標を立てていたが、未実施となり評価を昨年度と同様前期、Dとした。入学はしたが先が見えていない学生が多い。今後の課題。令和元年度は、2年時に病院、施設見学を行わせて就職への意識付けを行う計画となっている。

医療秘書科においては昨年同様「卒業生の講話を実施する」の評価がCであるが、実施できなかったため。H30年度は、早期就業には至らなかったが、継続して就職活動のサポートを行う。(17名中、2名は、別職種に就職もあった)

以下は評価に対してご意見を頂戴したところのみ記載。

### 《 学校教育方針 学校教育目標 重点努力目標 》

今後の課題(要望)

・学校教育基本方針及び、学校教育目標については、前教職員一丸となって取り組まれているので、B評価ではなく、A評価にすべきだ考える。

《 1.教育課程・学習指導 》

今後の課題(要望)

( . )

《 2.生活指導 》

今後の課題(要望)

( ・挨拶はとてもよくできている。継続してほしい。 )

《4.社会人基礎力》

今後の課題(要望)

( ・個々はよいが、集団となったときの態度 )

《7.施設・設備》

今後の課題

( ・設備を充実して欲しい。 )

## その他気づき

・過去から現在に至るまで、一貫して中身が濃い教育・生徒指導をしていると感じる。ひとつだけ、意見を述べるとすると、「運動励行を指導」と同じく、「読書」の励行を指導するべきではないかと思う。読書は「キャリアサポート」内の、「豊かな人間性を育む」あるいは、「考え抜く力」の全項目に、該当するのではないか。

・6. 組織運営を「良い」としたが、(3) 授業評価に関しては教員の指導力を高めるのが目標であることに鑑み、生徒のアンケートの科目平均と全科目平均を表す、レーダーチャートを作成し、各科目担当者のコメントを提出するようにしてはどうか。コメントは、良かった点、改善すべき点などを記入する。手始めに専任教員、次に賛同非常勤…というように進めていく。